



ミライの
フツをつくらう

SDGs

未来都市
とよた

2022年5月発行

S D G s の目標達成に向けた

豊田市の取組を御紹介いたします。

【お問合せ先】 ※御視察の相談等、お気軽にお問合せ下さい
豊田市役所 企画政策部 未来都市推進課
(TEL) 0565-34-6982
(E-mail) hybrid-city@city.toyota.aichi.jp

御宿泊・お食事などは、

豊田市公式観光サイト“ツーリズムとよた”で御検索ください



ツーリズムとよた
TOURISM TOYOTA



SDGs未来都市とよた

とよたの目指す将来都市像

～ つながる つくる暮らし楽しむまち・とよた ～

人と人、人と地域、自然とのつながりを深め、認め合い、生かし合う中で、
多様な価値や可能性をつくりだし、暮らしを楽しむことができるまちをめざします。

SDGs 未来都市とよた として

「つながる つくる暮らし楽しむまち・とよた」の実現に向け、
かけがえのない自然環境を守り、無理なく無駄なく快適に暮らす
「ミライのフツー」を目指してきた豊田市では、
さまざまな先進技術や新たな社会システムをかたちにしてきました。
そして2018年には、内閣府からSDGs達成に向けた
取組をリードしていく自治体「SDGs未来都市」に選定されました。

これまでとこれから



豊田市の取組

官民連携による“ミライ”の創造・地域課題の解決

3つの重点分野： エネルギー・モビリティ・ウェルネス

3つのプラットフォーム

とよたSDGsパートナー

豊田市つながる社会実証推進協議会

おいでん・さんそんセンター

(課題解決アプローチ：地域リソースの協業)

(課題解決アプローチ：先進技術活用)

(課題解決アプローチ：地域特性（都市と山村）)

3つの重点分野を通じて

SDGs達成を目指す

豊田市におけるSDGs未来都市の活動は、「エネルギー」「モビリティ」「ウェルネス」の3つを重点分野に掲げています。

AI、IoT、ビッグデータなどを活用したスマートシティの実現に向けた取組では、

移動やエネルギー、介護予防などの分野にも積極的に取り組んでいます。

「とよたSDGsパートナー」「豊田市つながる社会実証推進協議会」「おいでん・さんそんセンター」を中心に連携しながら、

SDGs達成に向けてさまざまな活動を展開しています。

豊田市におけるスマートシティの構想イメージ



とよたSDGsパートナー



豊田市は、SDGs(持続可能な開発目標)の達成、持続可能なまちの実現に向けて、豊田市と共に取組等を実施、協力いただける企業・団体等を「とよたSDGsパートナー」として登録しています。豊田市とパートナーが、それぞれの有する資源や知見等を生かし、共に目指すSDGsゴールや豊田市の地域課題の解決に向け、連携し、持続可能な取組や活動を推進するとともに、SDGsの普及啓発を図ることを目的としています。



豊田市つながる社会実証推進協議会



市民、企業、金融機関、教育・研究機関、官公庁をつなぎ、新たな技術や社会システムの実証・実装を選び地域課題解決を推進する協議会です。資源・エネルギーの地産地消、高齢化社会への対応、交通安全の推進などに取り組んでいます。



おいでん・さんそんセンター



都市と山村の交流をコーディネートし、人と人、地域と企業・団体をつなぐために設立された一般社団法人です。都市と山村それぞれの課題解決、多様なライフスタイルの実現のサポート、地域の新たな魅力創出の支援などを行っています。



事例集



豊田市つながる社会実証推進協議会
(地域課題解決に向けた先進技術を活用したアプローチ)

先進技術活用<豊田市つながる社会実証推進協議会>

主な地域課題と先進技術を活用した課題解決アプローチ（主な事例紹介）

- ・ VPP : P7
- ・ 地域電力 : P8

- ・ SAKURA
プロジェクト
: P9
- ・ 災害時配車
アプリ : P10

脱炭素・
再エネ
地産地消

- ・ 相談業務への
AI活用
- ・ 健康マイレージ : P19

防災

自治体DX

- ・ MaaS : P11
- ・ 自動運転 : P12
- ・ ドローン : P13

モビリティ

インフラ

- ・ 衛星画像を
活用した
漏水調査 P18

- ・ SIB活用介護予防 : P14
- ・ 紙おむつ処理 : P15
- ・ 地域リハ
イノベーションセンター : P16

介護予防
介護
医療

地域活性

- ・ 地域型
情報銀行 : P17

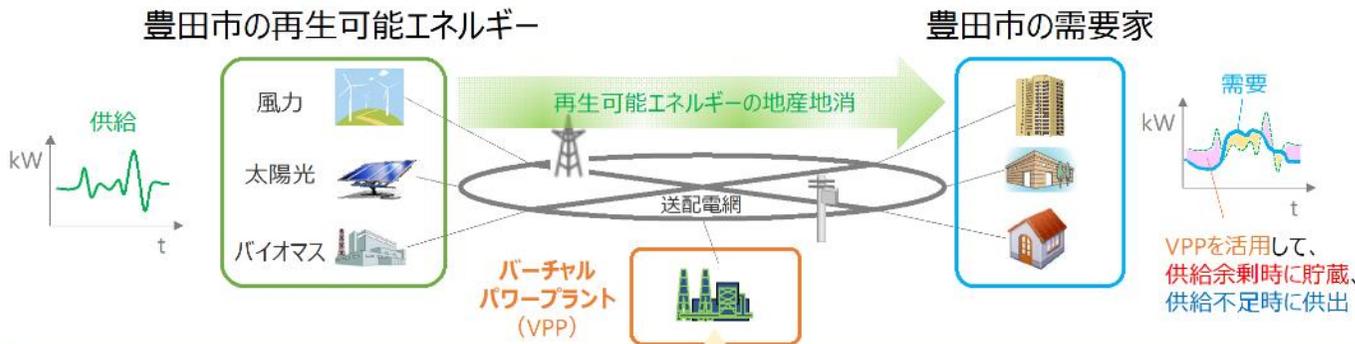
カーボンニュートラル

バーチャルパワープラント (VPP)

中電×トヨタ×デンソー×東邦ガス×アイシンほか

再生可能エネルギーの地産地消を実現するため、電力需給のバランス調整等を実施

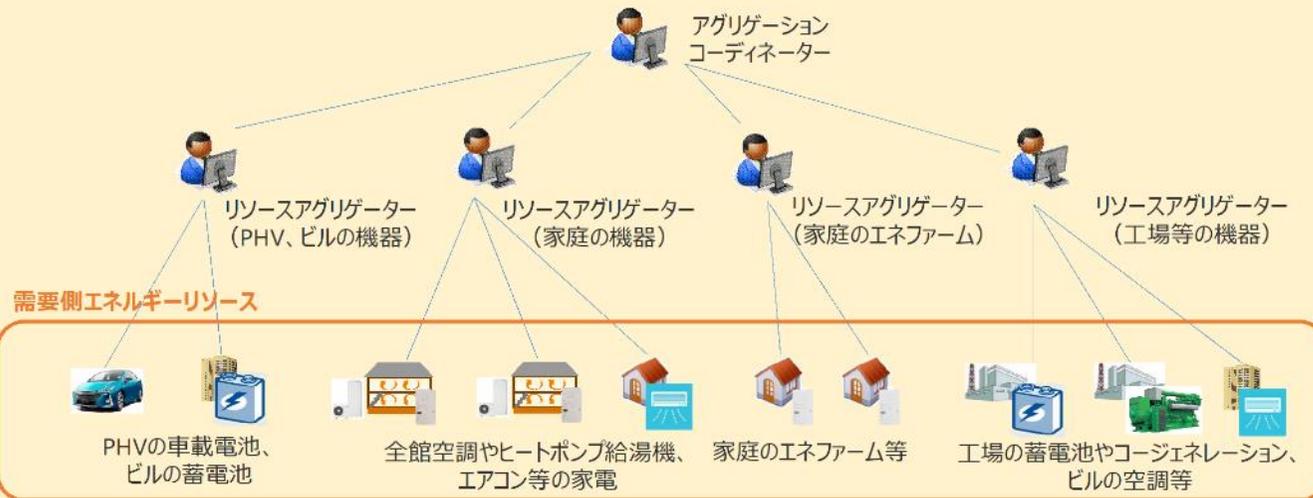
※「バーチャルパワープラント」：風力・太陽光・バイオマスといった様々な発電設備を、ひとつの発電所のように制御



【市内ポンプ場の実装済】

【担当者コメント】
VPPは、再生可能エネルギーの地産地消に必要な技術です。
この取組により、地産地消比率を高めることができることが実証できました。
特に、電力使用量を制御することで節電（コスト縮減）も達成できました。

電力システムにつながる様々な需要側エネルギーリソースを、あたかもひとつの発電所のように制御する「バーチャルパワープラント」を構築し、再生可能エネルギーの地産地消を実現するため、電力需給のバランス調整や、電力システム安定化のための調整力に活用



豊田市役所
企画政策部、総務部、上下水道局



カーボンニュートラル

地域電力

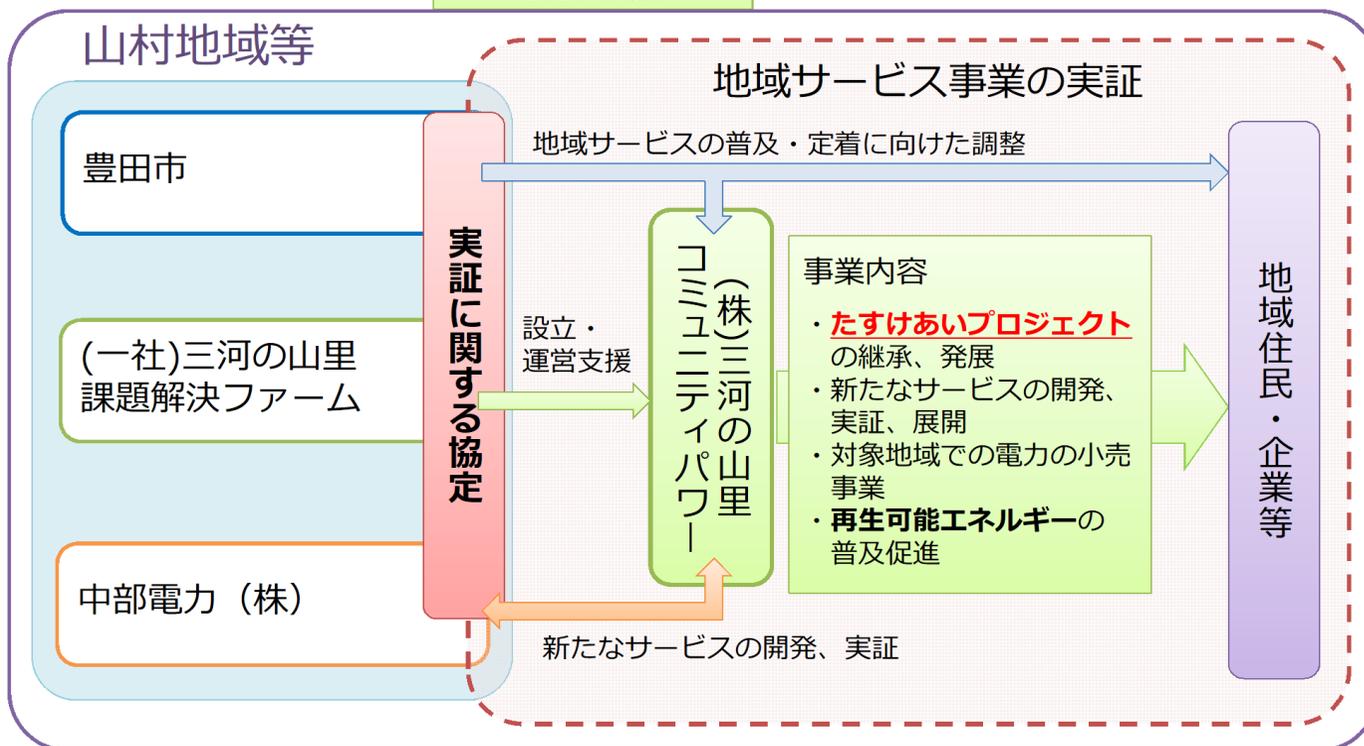
三河の山里コミュニティパワー（MYパワー） × 中電

地域内経済循環及び再生可能エネルギーの普及を進め、民間主導で地域課題解決を図るサービス提供に取り組む

※高齢者の移動支援や見守り、健康維持を図る「たすけあいプロジェクト」を始め、山村地域の暮らしを支えるサービス開発に取り組む

“自立”と“つながり”で支え合い、豊かさを創造する地域

目指す姿



【事業中】

【担当者コメント】
山村地域の公共施設や地域住民の方が、MYパワーから電気を購入し、それを財源に地域サービスを提供することで地域の暮らしを支える新しい官民連携モデルです。地域の方と共に、地域に根差した取組を展開していただいています。



豊田市役所
企画政策部、地域振興部、都市整備部

防災

SAKURAプロジェクト

トヨタ自動車×トヨタホーム×市内トヨタ系販売店8社

災害時の電源確保やコロナ禍での避難所の密回避に向け、PHVやFCVといった車両の外部給電機能をふやす・つなぐ・つかえる仕組みづくりに挑戦

※PHVやFCVを走る発電機と捉え、車両から電源供給ができる外部給電機能の普及を図る



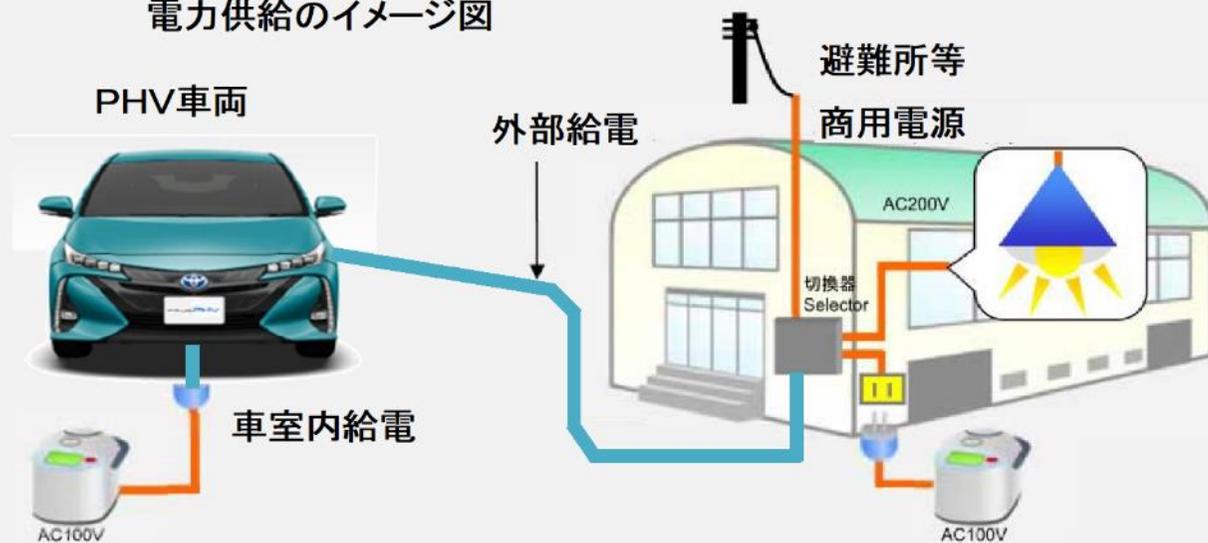
【次世代自動車 購入補助を実施】

【担当者コメント】

次世代自動車の環境面、防災面のメリットを広め、環境に優しく、災害に強いまちとなるようプロジェクト進めています。

桜の花びらが舞のように、豊田市での取組が全国へ、さらに世界へ広がることを目指していきます。

「外部電源供給システム」を使った
電力供給のイメージ図



豊田市役所
環境部、地域振興部、企画政策部



防災

SAKURAプロジェクト 最適配車アプリ

トヨタ自動車×トヨタホーム×市内トヨタ系販売店8社

給電活動が可能な車両を最適配車するアプリを使用し、市や自動車販売店が保有するPHVやFCVを配車し、避難所などの電源を必要とする場所に電気を供給



【担当者コメント】

災害時を想定し、市内の資源を最大限有効活用するために実証を進め、実用化に向けた検証や課題の抽出を進めています。
災害発生時には、市内外で電動車を活用した支援ができるよう備えていきます。

豊田市役所
環境部、地域振興部、企画政策部



モビリティ

M a a S : 超小型 E V を活用した地域課題解決

訪問診療：トヨタ×藤田医大×医師会×医療センター
デリバリー：豊栄交通×商工会議所×トヨタ

豊田市版M a a Sをモビリティ・アズ・ア・ソリューションと定め、様々な地域課題解決に活用
狭隘道路の走行や夜間訪問を行う訪問診療での活用や、コロナでニーズが高まったフードデリバリー
に活用し、市内飲食店の支援を実現



【豊田地域医療センターに実装済】



フードデリバリーが始まります

ティーカーゴ

T+CAGO

T+CAGO(ティーカーゴ)はウェブサイトから簡単にお好みの料理のご注文が出来る新しいサービスです。

【担当者コメント】
医療関係者からは、小型で狭い道路が走りやすく、夜の訪問も騒音がなくストレスがないと好評いただいております。フードデリバリーについても、コロナ禍で、突然のニーズの高まりに対し、迅速に対応し、飲食店の中には、“売り上げの10%超を宅配が占めた”と感謝の声をいただきました。

豊田市役所
企画政策部、福祉部



モビリティ

自動走行実証

- ①名古屋大学×豊田都市交通研究所
- ②新明工業×フジタ×トヨタすまいるライフ

市内の様々な場所をフィールドとして提供し、自動走行の技術開発を支援
施行中の区画整理事業地内を走行路とするなど、走行路の確保に係る企業等の負担を軽減



【担当者コメント】

市内企業から、自動走行の実証フィールド提供のオファーがあり、より実空間に近いフィールドを提供するため、区画整理事業中である区域を使用しました。
手続き等を簡略化でき、迅速に実証を行うことができました。

豊田市役所
企画政策部



モビリティ

ドローン

- ①消防用ドローン：プロドローン
- ②協業ネットワーク：SkyDrive
- ③水管橋点検（実証実験）：ミライトテクノロジーズ

ドローンの活用機会の創出を図るとともに、ドローンの開発・製品化の加速を図る取組を推進
豊田市消防においては、水難救助や山岳救助、林野火災対応などへ対応するため、訓練を積むとともに、実際に現場で運用をしています。



【豊田市消防に実装済】



【担当者コメント】
消防において、ドローンの利用により、活動方針の決定が迅速にできるようになりました。
隊員が踏み込めない場所でもドローンにより状況確認を行うことができるようになるなど、円滑な活動につながっています。



豊田市役所
消防本部、産業部、上下水道局



介護予防

成果連動型・民間資金活用（SIB）による介護予防 NRS推進機構×JAGES×市内外企業・団体

ソーシャル・インパクト・ボンド（SIB）と呼ばれる委託契約手法により、コロナ禍における高齢者に対し、介護予防につながるプログラムを積極的に提供

民間資金により、プログラムを先行して提供。市が設定した成果が報告されれば、成果に応じて報酬を支払う仕組みを採用。各事業者は自社のノウハウやアイデアを積極的に活用し、高齢者にプログラムを提供

参画事業者の全体像

現在32の事業者が、約40のサービスを提供。事業者間の連携も起こりつつある

プログラム参加者の健康維持・介護費削減

プログラムへの新規参加・継続参加

市内事業者

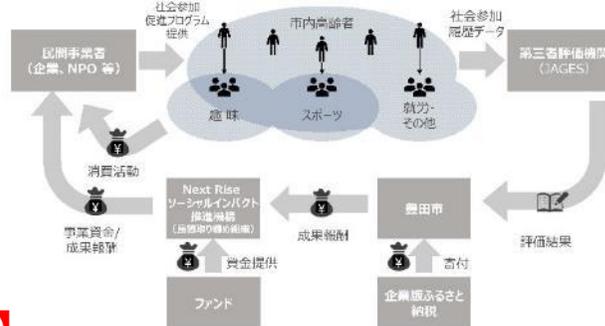
サービス事業者による事業例（コロナ禍を踏まえ、オンライン・三密回避のオフラインプログラムを実施）

| | | |
|--|---|---|
| <p>スポーツ・健康</p> <p>はたけん P-BASE とよたミュージックケアの会 とよた音楽愛好会 スギ薬局 中部電力 Jtb Communication Design Rakuten ジニア</p> | <p>趣味・エンタメ</p> <p>はたけん パソコン教室みんと 音の音 Rakuten ジニア SMIRING Formia スモールステップ 三河山荘 コミュニケーション KAO KAGOME MTG Moff Agilmas Corp</p> | <p>コミュニケーション・就労・その他</p> <p>はたけん 三河山荘 コミュニケーション AISIN ひまわりネットワーク LYXIS 趣味・エンタメ 里いも みよし柿カレー 三河里葉 MENARD アプネット豊田 HELTE 就労・その他 株式会社豊工業 りーばーいーつ</p> |
|--|---|---|

参加 Next Rise Social Impact Action 参加

豊田市官民連携介護予防「ずっと元気！プロジェクト」のスキーム

SIBの仕組みを活用し、豊田市より委託を受けたNext Rise ソーシャルインパクト推進機構が、民間取り纏め組織として本プロジェクトを推進



【担当者コメント】
市の保健師を始めとした人的リソースをコロナ対応に振り向けざるを得ない一方、高齢者の方は外出を控えられ、介護リスクが急上昇しているという課題を解消するため、市内外の事業者に協力いただき、コロナ禍でも介護予防活動を積極的に提供しています。

豊田市役所
企画政策部、生涯活躍部、
福祉部、保健部、産業部



介護

紙オムツの下水道受入れ社会実験

特別養護老人ホーム三九園 × LIXIL × 国土交通省

介護施設で使用された紙オムツをし尿と焼却可能な紙オムツ成分に分離し、分離されたし尿などは下水道へ排出し、紙オムツ成分は燃えるごみとして処理

使用済み紙オムツの臭気、保管、運搬に関する介護施設職員の方の負担軽減。使用済み紙オムツの減量・減容化（参考：重量3分の1、容積6分の1）により、ごみ処理のコスト低減を期待



【担当者コメント】

使用済み紙オムツの処理に関わる介護施設の方の負担増大が社会問題となっていると感じています。

この実験の結果が、介護の現場で働く人たちの負担軽減につながることを期待しています。

豊田市役所
上下水道局



医療

地域リハ イノベーションセンター

藤田医科大×トヨタ×豊田加茂医師会×医療センター

先進技術を活用した地域リハビリテーションや在宅療養の推進を図るため、産学官医が連携し、豊田地域医療センター内に開設

【事業中：2021年11月オープン】

①ロボティクスマートルーム



自宅を模したスペースで、先進技術を活用した在宅でのリハビリや介護の体験ができます。

体験を通じて自身の暮らし向上に役立つ先進機器の導入契機としていただくほか、得られた意見を基に、より快適な暮らしを提供できる機器の開発や技術の向上につなげます。

※①②共通 体験時間は午前9時30分～午後0時30分、専門職への相談や企業・団体の体験は要予約
(☎34・3000)

②モビリティトライアルルーム



加齢などによって身体能力が低下した場合でも、移動を便利にし、生活範囲を広げられる最新のモビリティの体験ができます。

③サフロ健診コーナー



サルコペニア*1、フレイル*2、ロコモティブシンドローム*3の評価を行い、健康寿命延伸に向けた行動変容の促進やリハビリなどの必要な治療につなげます。

- ※1 加齢や疾患による筋肉量の減少
- ※2 加齢によって心身の機能が衰えた状態
- ※3 運動器の障がいにより移動機能が低下した状態

■実施日時 月・火・木曜日 午前8時30分、10時(各時間1人)

※要予約。所要時間は問診や結果説明を含め2時間程度

■受診料 4,950円

■予約開始日 11月8日(月)

■予約・問合せ 午前9時～午後4時に電話で健診センター

(☎34・3002、34・3003)



【担当者コメント】
ICTなどの最新技術の導入や関係機関との連携強化によって、在宅療養を始めとした選択肢を増やし、「地域」との関わりを大切にした「コミュニティ・ホスピタル」として、一人一人が自分らしく暮らせる地域社会の実現を目指していきます。



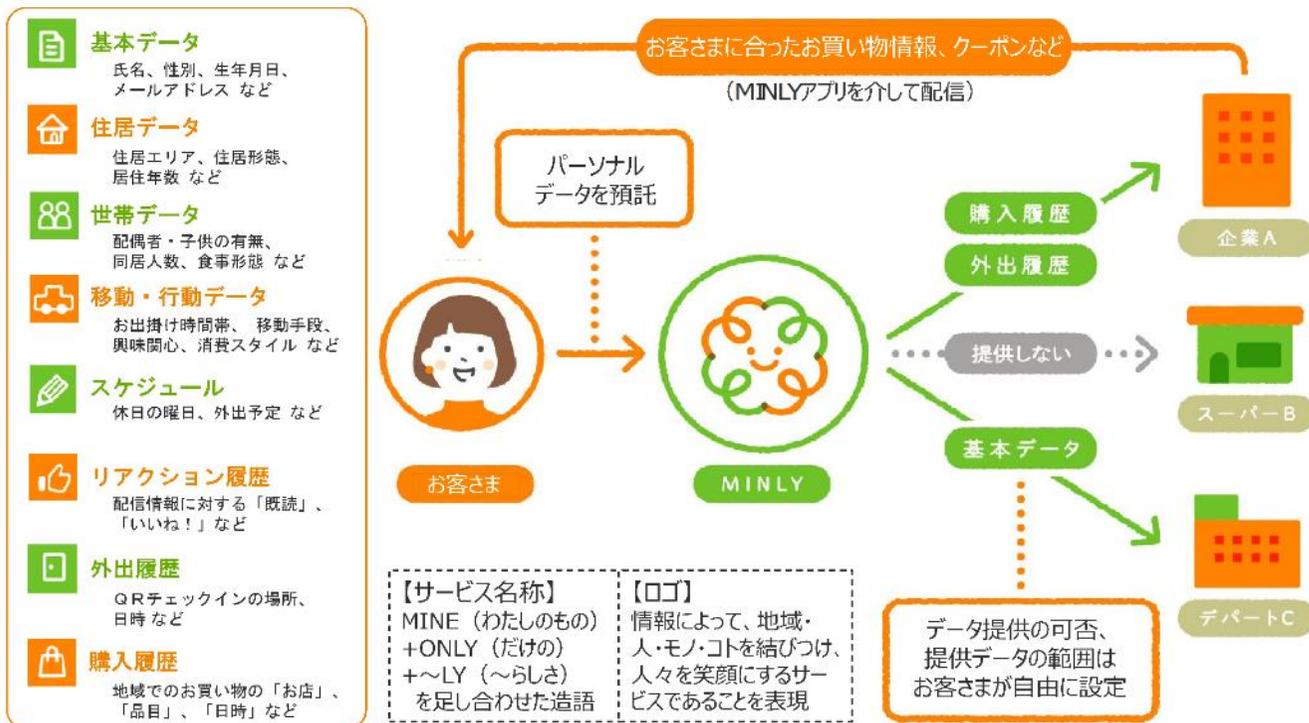
豊田市役所
福祉部

地域活性

地域型情報銀行 “MINLY” 中電

パーソナルデータを「地域型情報銀行」が集約・管理し安全安心に地域内で流通させることで、生活者の日常生活の利便性を向上させると共に地域内の健康増進と地域消費の活性化を図る。

MINLY (マインリー) サービスの概要



【担当者コメント】
パーソナルデータを預託し、自分の意思で自身の情報の活用方法を決める新しい流れを生み出す取組です。
市内の事業者の参加により、データを上手に、円滑に活用するため、実証を進めています。



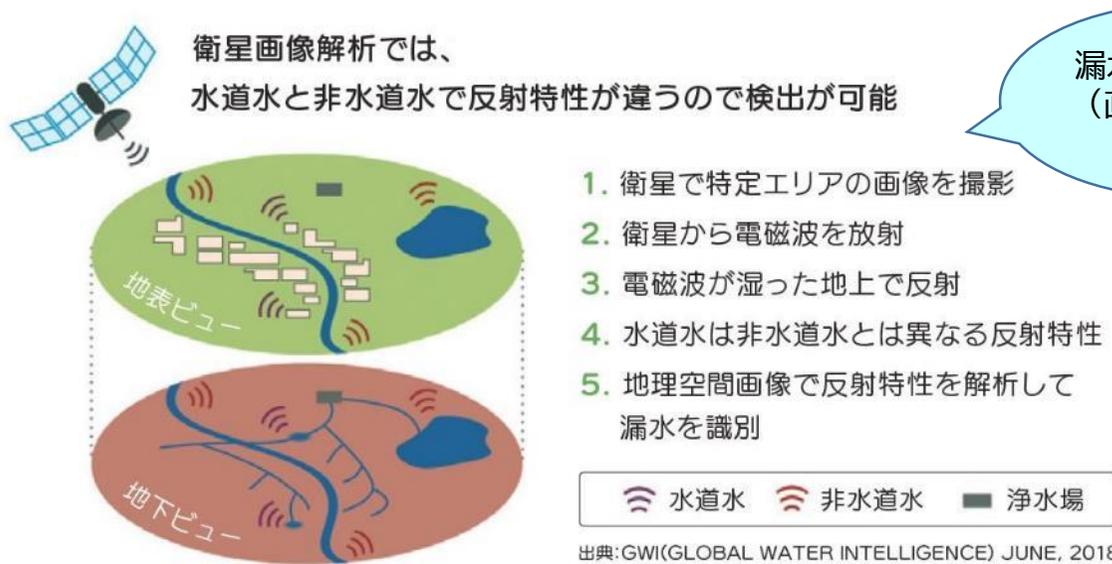
豊田市役所
企画政策部

インフラ

衛星画像を活用した漏水調査

- ① Utilis (ユーティリス) (現社名: ASTERRA)
- ② 天地人 × フジ地中情報

衛星画像をAI解析することで、効率的に漏水箇所を発見する取組を進めています。令和2年8月に全国で初めてUtilis社に委託し調査を行いました。なお、その結果を踏まえ、精度向上を図ることを目的に、令和4年2月から(株)天地人・フジ地中情報(株)とともに実証実験を実施しています。



【担当者コメント】
インフラの老朽化はまったなしの課題です。水道管の老朽化に対し、効果的・効率的な予防保全を実施していくために、調査は不可欠です。特に、市域の広い豊田市において、効率化を図るため、実証を推進しています。

※実証実験の概要

- ・漏水可能性区域の判定区域を縮小 (直径200m → (目標) 直径100m以内)
- ・漏水的中精度の向上 (約3割 → (目標) 約6割)



豊田市役所
上下水道局

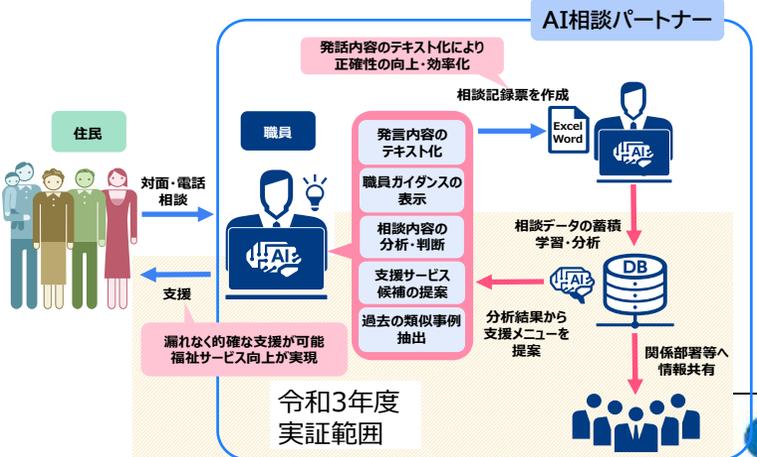
自治体DX

AIを活用した窓口業務

- ①三菱総研×アイネス
- ②NTTドコモ

- ①住民相談業務を支援する「AI相談パートナー」を導入し、職員個人に紐づく暗黙知を形式知化することで、窓口相談での福祉サービスの向上・効率化及び職員の事務負担軽減に取り組む
- ②スマホアプリ「健康マイレージ」を活用し、AIによる健康リスク検知するとともに、異変検知により、家族等に情報発信等を行う

①三菱総研×アイネス



【担当者コメント】
 専門化、複雑化する福祉分野の業務について、職員スキルの向上とともに、スキルの横展開を図ることが重要と考え、暗黙知のデータベース化に取り組んでいます。
 高齢者においても、スマホ等を使いこなす方は年々増えており、情報通信技術の積極的な活用を図っていきます。

②NTTドコモ



豊田市役所
 総務部、福祉部

事例集



とよたSDGsパートナー

(地域課題解決に向けた地域リソースの協業によるアプローチ)

地域リソースの協業<とよたSDGsパートナー>

豊田市とパートナーがそれぞれの有する資源や知見（モノ・コト・ヒト）を活かし、連携して持続可能な取組や活動を推進。会合やイベント等を契機に、新たな取組が生まれる。



SDGs
未来都市
とよた

パートナー事務局（豊田市）

※会員紹介・マッチング機会の提供

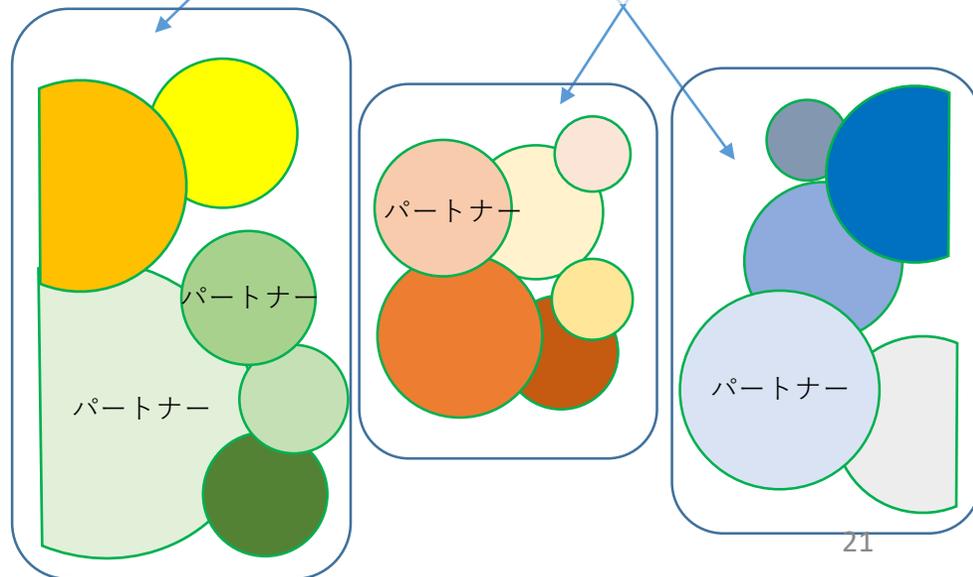
- ・会合
- ・ワーキング
- ・セミナー



新しい仲間づくり
・やりたいことをプロジェクト化



「とよたSDGs グッドプラクティス」集
として見せる化



地域リソースの協業<とよたSDGsパートナー>

【プロジェクト化事例】

国際会議に向けた、パートナーワーキングで3つの取組が誕生

- ・教育・次世代育成チーム
- ・災害・まちのお助け隊
- ・おたがいさま会議

「異業種」が国際会議をきっかけにつながったことで、新しい発想・取組が生まれました。



Smart and Sustainable Communities with COVID-19

新型コロナウイルスがもたらした生活様式やつながりが“New Normal”の社会の中核をなす。どう暮らし、生きていくのか? 豊田市のSDGs重点分野(モビリティ・エネルギー・ウェルネス)を中心に、様々なステークホルダーと一緒に国内外の事例を踏まえ考えていきます。

2021.3.6 SAT 13:30-18:00

Online開催
参加費無料
【日英同時通訳あり】

| | |
|---|--|
| <p>主催プログラム</p> <p>主催者 豊田市・国際総合地域開発センター (UNCRD)</p> <p>共催 内閣府、農林省、国土交通省、経済産業省、外務省、愛知県、名古屋市、豊橋市、岡崎市、(一社)イクレイ日本、(公財)地球環境戦略研究機関 (IGES) ※協賛あり</p> | <p>オンライン開催・参加し込み</p> <p>WebQ&Aセッション(事前WebQ&A) </p> <p>https://think-sdgs-toyota-jpn-participants/</p> <p>2021.3.6 オンライン受付開始</p> <p>会場 豊田市 国際総合地域開発センター</p> <p>電話 0545-775669</p> <p>メール info@toyotainc.co.jp/toyota.com</p> <p>受付時間 9:00-17:00 ※別途あり</p> |
|---|--|

事例紹介 [ウェルネス]

とよたSDGsパートナーがつなぐ“WE LOVE とよた”

ファシリテーター 株式会社ジオコス 都梅 まき

パネリスト とよたSDGsパートナー

anam fair trade&natural/有限会社一鈴ビルマネジメント/有限会社梅村工務店/ガールスカウト愛知県第62団/かつ雅豊田吉原店/株式会社サンセルブ/株式会社ジオコス/スズヒロフォークリフト株式会社/豊田市立藤岡南中学校/一般社団法人豊田青年会議所/丹羽株式会社/富士通株式会社東海支社/松坂屋豊田店/株式会社三河の山里コミュニティパワー/一般社団法人Re Smile



★「教育・次世代チーム」 5団体

→「SDGsの木」と題して“自分でできるSDGs”を葉っぱ(付箋)に記載してもらってコンテンツを作成し、市内イベントで活用

★「災害・まちのお助け隊」5団体

→「防災フェスタ」で物資輸送訓練(コロナで中止)

→10月【土嚢づくり】

★「おたがいさま会議」 5団体

→月1回程度の例会で課題や実践事例を学び、意見交換会を実施。会議を踏まえ、プロジェクト化

【実績】

- ・耕作放棄の解決策として、中山間地域で採算の合う価格で市内の企業と漬物用の菊芋を生産
- ・福祉事業所での作業単価について、市内の企業が通常の外注単価と同額で作業発注



|| 株式会社 SMIRING NPO法人 おんぶにだっこ ||

ビストロ スマイリング



高齢者が若者を支えて みんなが幸せになれる食堂を

株式会社 SMIRING、NPO法人 おんぶにだっこでは毎週金曜日の夜、デイサービスを利用する高齢者と介護スタッフ、地域のボランティアさんが料理を作り、共働きで働く地域の主婦の方々に休憩ができる場所を提供しようとコミュニティ食堂を開催しています。

最近では、共働き世帯、1人親世帯が増加し、同社でも子育てをしながら働くスタッフが増えています。その一方で、デイサービスを利用する高齢者の皆さんは、まだまだやれることもあるのになーという想いを抱いていました。高齢者の方は、手作業で色んなことをこなしてきた世代で、手先が器用な人が少なくありません。そこで、子育てママと高齢者が抱える課題を解決する方法として、従来の発想を逆転させ、「高齢者が若者を支える地域」を作ろうと考

えた結果、コミュニティ食堂にたどり着きました。この取組に参加する高齢者の皆さんは、生活リハビリとして、料理を通じて長時間の立位維持や、包丁を使った手先の訓練を知らず知らずに行っています。また、料理を食べに来る子連れママたちにとっては、ご飯を作らないでいい精神的な解放感だけでなく、子供たち同士で遊んでくれることでほっと一息つける時間になっています。また、普段接することの少ない高齢者世代と子供が触れあう多世代交流の場にもなっています。

コロナの関係で2020年3月から中止していましたが、2021年4月から「スマイリングキッチンLABO」とリニューアルし、場所を美里地区に移して運営を再開する予定です。



担当者の想い

地域が抱える課題、世代ごとに抱える課題、色んな課題をごちゃ混ぜにしてしまえば解決するかもしれない。いろんな人の少しのおせっかいを応援できる場所、色んな人が安心して入れる場所となれるようにしていきたいです。

株式会社 SMIRING
NPO法人 おんぶにだっこ

愛知県豊田市中垣内町広畑7-3
<https://smiring.info/>

Good Practice
04

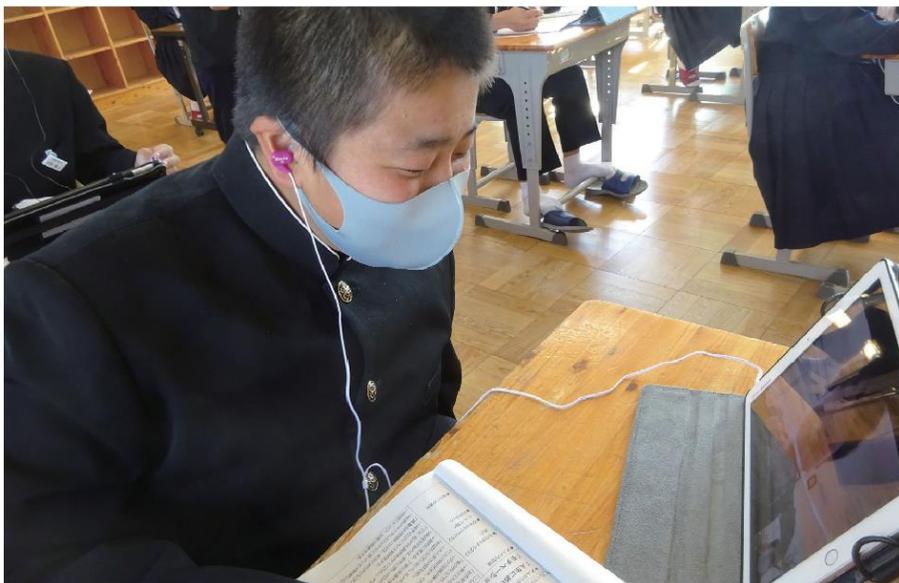
エネルギー

モビリティ

ウェルネス

Ⅱ 豊田市立藤岡南中学校 Ⅱ

中2と大人がミライを語る会



大人と語り合う場が これから歩む人生の活力に

豊田市立藤岡南中学校では、2020年12月1・2日、とよたSDGsパートナー企業・団体の協力を得て、中学生と大人が1対1のペアを組み、「中2と大人がミライを語る会」をオンラインで開催しました。自分の心の充実度を表した「モチベーショングラフ」をもとにして、これまでの人生を振り返りながら、これからどんな人生を歩んでいきたいのかを語り合いました。大人たちは「仕事」という枠にとらわれず、どのような人生を歩んできたのか、そしてこの先の未来をどう描いているのかを生徒たちに語りました。生徒たちは2日間で、4人～6人の大人たちの人生観に触れ、これから自分が歩む人生について考えること、過去の自分を大切にすること、未来

に向かって今できることに精一杯取り組むこと、失敗しても何度でもやり直せることなどを学ぶ機会になりました。また、初対面かつオンラインの会話だからこそ、将来に対する悩みを素直に打ち明けられたという生徒も多く、ここでの出会いがこれから歩む人生の活力となったようです。本校では今後も、従来から行ってきた職場体験学習とあわせて、引き続き「中2と大人がミライを語る会」のような生きたキャリア教育の実践を進めていきます。そして、とよたSDGsパートナーの輪をうまく活用することで、仕事・職業という概念が目まぐるしく変化するなか、学校の視点だけでなく、幅広い視野を養う機会を提供していきたいと考えています。

担当者の想い

参加者からは、「逆に生徒から力をもらった」という嬉しい言葉を頂きました。今後は一方的に知識や経験を受け取るだけでなく、中学生だからこそできる社会貢献について生徒とともに考え、発信していきます。参加して下さった方々に心より感謝申し上げます。また、参加者募集等に尽力して下さった豊田市役所未来都市推進課、オンライン活動の環境を整えて下さった豊田市教育委員会、教育センターの皆様にお礼を申し上げます。



豊田市立藤岡南中学校

愛知県豊田市西中山町蔵屋敷86

http://www2.toyota.ed.jp/swas/index.php?id=c_fujiokaminami

主目標

4

質の高い学習を
みんなに



17

小学校から学び
【夢を叶えよう】



関連目標

11

豊田の未来を
夢やうけと



株式会社アルディ

置き菓子ボックス [オフィスきらり]



障がいのある人が働きがいを持てる社会へ

株式会社アルディでは、「誰もが生きがいを持って暮らせる地域社会を実現する」という想いのもと、障がい者支援施設で作られたお菓子を1個100円で購入できる置き菓子ボックス「オフィスきらり」を展開しています。2020年12月現在、愛知県豊田市内の交流館などの公共施設、自動車製造に関わる企業を中心に、市内各所に約70台設置されています。2020年3月末まで、豊田市駅前松坂屋9階に「アンテナショップきらり」として障がいのある方々が作った商品の販売場所がありました。ただ、年々来客数が減少し、売上が伸びず、障がいのある方々の工賃への反映が難しい状況でした。そこで、地域の人々に障がい福祉を知ってほしい、気軽に障がい福祉で作られた商品を購入

入してほしいと思い、2018年6月から置き菓子ボックスの「オフィスきらり」の運営を開始しました。「オフィスきらり」の設置をきっかけに、障がい福祉に興味を持つ企業との繋がりができ、お菓子の詰め合わせセットの注文や、公園清掃、内職といった新たな仕事の受注にも繋がりました。また、取り組み内容が高く評価され、2020年度のグッドデザイン賞を受賞しました。「オフィスきらり」が目指しているのは、全国の障がい者支援施設でも実施できる仕組みにすることです。在庫管理システム、補充方法、集金方法など、置き菓子ボックスの仕組みをパッケージにし、全国の障がい者支援施設へ横展開できる仕組みにしたいと考えています。



担当者の想い

オフィスきらりの活動を通じて、障がい者支援施設で働いている障がいのある人と地域の人、企業を繋ぎ、障がいのある人の工賃向上と、誰もが生きがいを持って暮らせる地域社会の実現を目指していきたいと思っています。

|| 有限会社 梅村工務店 ||

「うめのいす」「うめのつくえ」など豊田市産材の活用



イスや机のDIYキットを通じて 豊田の森を知るきっかけに

有限会社 梅村工務店では、コロナ禍のステイホーム期間中、おうちじかんを楽しんでもらうための企画として、豊田市産材を使ったイスや机のDIYキットをプレゼントしました。対象は、学校や幼稚園・保育園が休みになってしまった子供たち。「出かけなくてもおうちでたのしくすごせるよ」ということ、「豊田市にも森と木があり、それに守られて私たちは安心して暮らすことができるんだよ」ということが伝えたくて始めました。

2020年4月、愛知県にも緊急事態宣言が発令され、行き場のない気持ちをたくさんの方が抱えていました。それは、大人だけでなく学校や幼稚園・保育園に行けなくなった子供たちも同じです。そこで同社では「少しでも笑顔になってほしい」と企画を始めました。材料の豊田

市産材の板は、小屋を作った端材でした。「お金をかけずにいま私たちにできることを」という気持ちでアイデアを形にしました。

スタッフの皆さんは、イスや机をプレゼントした人たちから届く笑顔の写真とメッセージに、逆に励まされたと言います。この企画をきっかけに、同社では「できないことではなく今できることを考える」という体制ができあがり、どんな人が何に困っているのか考えることの大切さ、想いが届き、喜びを共有することの素晴らしさを改めて知る機会になりました。これらの気づきが企業活動を行う上でとても大切なものだと感じ、スタッフ全員で気持ちを共有できたことは、会社として大きな成果だったと感じているそうです。



担当者の想い

当社の「うめのいす」「うめのつくえ」は、豊田市のふるさと納税の商品にも選定されています。今後も地元とのつながりを大切に、地域社会に頼りにしていただけるよう、さまざまな活動をしていきたいと考えています。

有限会社 梅村工務店

愛知県豊田市亀首町町屋洞38番地
<https://umekou.co.jp>

Good Practice
10

エネルギー

モビリティ

ウェルネス

|| 一般社団法人ClearWaterProject ||

生き物好き集まれ! ミニビオトープを楽しく作って知るSDGs!



主目標

15



関係目標

14



ビオトープで起きた出来事が 自然環境を考える生きた教材

2020年10月3日、豊田市エコフルクワンのパピリオン内プロジェクトゾーンにおいて「生き物好き集まれ!ミニビオトープを楽しく作って知るSDGs!」というイベントが開催されました。水の中の生き物が豊かな生態系を作り、お互いに作用し合っていることを楽しく学べるのが「ミニビオトープづくり」の魅力です。

一般社団法人ClearWaterProjectは、「子どもたちが目を輝かせて飛び込んでいくような川、海、湖を未来の世代に」「豊かな水辺環境、水辺文化を創造する」ことを目指す団体です。自然環境に慣れ親しみ、興味関心を持った子どもたちが未来を担えば、それぞれの活躍の場で直接、間接的に自然環境に良い影響を与えるはず。そこで、子どもたちにそんな体験をしてみようと考え

え、本プログラムを実施しています。また、一過性のイベントで終わらず、学びや感動が生活の中で持続するよう、持ち帰りのできるミニビオトープを題材としています。

プログラム終了後、何組かの親子から質問がきました。「室内で殺虫剤を使用したために生き物が死んでしまった」といった内容でした。生き物が死んでしまったのはミニビオトープに起こったことですが、これは自然環境で起こっていることのミニチュア版です。殺虫剤が原因で生き物が死んだという事実は、農業や化学物質による水の汚染そのもの。このように、ミニビオトープというミクロな視点が、自然環境というマクロな視点へとつながることで生きた学びの教材となっています。



担当者の想い

SDGsを通じて自然や生き物を大切にすることは、人間を大切にすることに他なりません。弊団体ではこうしたSDGsの精神を伝えることをゴールに設定しつつ、今後も小学生向け生き物環境学習を実施していきたいと思っております。

一般社団法人
ClearWaterProject

愛知県名古屋市中区栄釜口2-1403 アーバンドエル釜釜口703
<https://clearwaterproject.info/>

事例集



おいでん・さんそんセンター
（地域課題解決に向けた地域特性（都市と山村）によるアプローチ）

つながる力でミライを変える



① 都市と山村の交流コーディネート

いなかとまちがつながる様々な交流をマッチングし、持続化をサポートしています。

都市部企業と地域のマッチング

社員の育成、商品やサービス品質の向上などの課題を抱える都市部の企業と、農林業の担い手不足による里山環境の荒廃、地域コミュニティの弱体化など、課題を抱える山村地域をつなぎ、お互いの強みを生かし、双方の課題解決を図る新たな関係性を築きます。



集落活動応援隊



山村地域で地元住民と交流しながら、集落活動（道路の草刈り、竹藪の整備など）を応援するボランティアを組織し、集落の要請に応じて隊員を派遣します。

そのほか、研修サポート、CSR（社会貢献活動）や人材育成を検討している企業担当者にもむけた見学ツアーの開催などの活動を行っています。

【利用者の声】



畦道 今枝 美恵子 さん

障がい者福祉施設「畦道」をつくらうと保健師さんに相談したときに、「地域資源を活用した仕事づくりがしたいならここに相談するといいよ!」と案内された場所がおいでん・さんそんセンターでした。法人も施設も立ち上げ前にも関わらず、私たちの想いを真剣に聴いてくださり、「この地域にはこういう仕事が必要だよ」と教えてくださいました。また、物件の大家さんとの話し合いや地域の方への開所説明にも同席していただき、とても心強かったです。

現在でも困ったことがあるとまずは、「おいでん・さんそんセンターへ相談しに行こう!」と思うくらい、とても頼りにさせていただいています。

② いなか暮らし総合窓口

いなか暮らしの総合窓口として移住したい相談者をサポートしています。

移住相談の受付

山村地域について知りたいという方には、様々な体験ができるイベントのご紹介。住まいを探す方には制度のご案内をさせていただくなど、ご相談者にあったアドバイスをさせていただきます。

移住プロモーション「空き家に明かりをプロジェクト」

山村地域への移住をサポートするにあたり、「住まい」（空き家）が不足していることが課題に挙がっています。そこで「空き家に明かりをプロジェクト」を展開し、空き家を活用した移住者受入れに取り組む地域の活動を後押しし、受入れの機運を高めています。



「車だけって思った!?豊田舎移住計画」

豊田市には「しっかり田舎」がある。山村への移住を考えている方たちに移住プロモーション事業「豊田舎とよたのいなか移住計画」を実施しています。



そのほか、空き家情報バンク制度の支援、空き家片付け大作戦や暮らしの様子を具体的に想像しながら物件見学を行う「暮らしの参観日」のサポート、いなか暮らし博覧会の実施などの活動を行なっています。

【利用者の声】



ひなたぼっこ農園 加藤 奈美さん

おいでん・さんそんセンターは移住する前にしょっちゅう利用させていただいていました。豊田市は住んだことがないので分からないことだらけでしたが、事前に色々な情報収集ができました。空き家情報はもちろんですが、私たちは農家ですので農地の相談などもさせていただきました。ぶらっと行ってもすぐ対応

してくださるのも、とても助かりました。

おかげさまで本業が忙しくなり、移住してからは、センターに行くことは少なくなってしまいましたが、子どもも生まれ、自然の中で生活できることが幸せに感じています。私の出身地は川崎（神奈川県）なのですが、高速にもすぐ乗ることができるので、実家に帰りやすいのも嬉しいポイントです。

私たちの生活スタイルに合ったちょうど良い暮らしができており大満足です。

③「支え合い社会」の研究・実践

支え合い社会の実現に向けた研究・実践をサポートしています。

専門部会の取り組み



6つの専門部会（裏面参照）があり、豊田市周辺の山村地域にて、さまざまな組織・企業・団体とともにお互いへの理解を深めながら、課題解決の方策等について検討しています。



山村に関わる人材の発掘・育成

雇われるでもなく起業でもない働き方について、共に深め、実践する「ミライの職業訓練校」の開催支援



山村をフィールドにこれからの生き方・働き方・社会のカタチを考える塾「豊森なりわい塾」



そのほか、山村の魅力・価値PR事業として、いなかとまちのくろま座ミーティング開催、山村の魅力発信イベントの支援、WEBを活用した情報発信、機関誌の発行、パンフレット等の紙媒体を活用した情報発信などの活動を行っています。

【利用者の声】



岩下町町内会長 大塚 完治 さん

おいでん・さんそんセンターにはじめてお世話になったのが2014年4月でした。2012年に集落ビジョンのワークショップをやったことがきっかけです。イノシシの住処になっていた竹林の伐採に十数名の「集落活動応援隊」の方が参加してくださったことを覚えています。地元の年寄りだけで作業したら何日かけても終わりませんでした。おかげさまで田畑を荒らすイノシシの被害も減りました。それから毎年6月と9月の環境美化活動の時にお願いしている市道沿いの草刈りに来ていただき本当にありがとうございます。今では9世帯に減ってしまって自分たちだけでは何もできません。活動の休憩時間や作業後は応援隊の方と交流でき、住民もみんな喜んでいきます。

地域特性（都市と山村） <おいでん・さんそんセンター>

【廃校を活用した地域の交流拠点：つくラッセル（※）】
～起点をつくりだす みんなの“やりたい”を叶える～

※「つくらっせる」：豊田市の山村部の方言。「つくる」の意味

：18団体以上が、つくラッセルを拠点に活動

2022年1月から訪問看護ステーション“かえるの家”が仲間入り



【かえるの家】

山村部（旭地区）に移住し、開業。
地域によっては、高齢化率が80%を超えるような山村部で、「地域に密着して、地域の療養者や家族が気軽に相談できるステーションになれば」と取組を進める



【里モビLIFEプロジェクト】

山村部に暮らす高齢者の移動手段の確保、外出促進、安全運転支援を目的に超小型BEVを活用



F I A 世界ラリー選手権 フォーラムエイト・ラリージャパン2022 2022年11月10日～13日



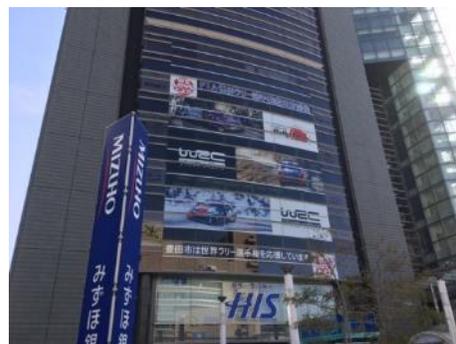
市内小・中学校等で、ラリーの魅力
と交通安全の大切さを伝えるラリー
教室を開催



<令和4年度ラリー競技 豊田市での開催予定>

- ① 豊田しもやまラリー
6月18日(土)、19日(日)
- ② シロキヤラリー
10月1日(土)、2日(日)
- ③ フォーラムエイトラリージャパン2022
11月10日(木)～13日(日)
- ④ TOYOTA GAZOO Racing ラリーチャレンジ
11月19日(土)、20日(日)

参合館北側及び
西側壁面ラッピング



鞍ヶ池公園ミライプロジェクト

※東京オリンピック・パラリンピックで使用された車両が運行中



「フォレストアドベンチャー・豊田鞍ヶ池」
(2022年3月30日オープン)



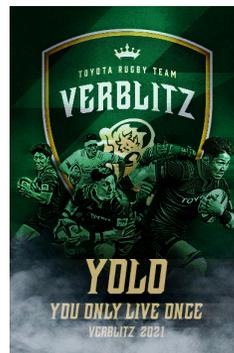
豊田スタジアム



ラグビー国際試合

7月2日（土）【ラグビー】

リポビタンDチャレンジカップ2022
日本代表vsフランス代表



「EAFF E-1サッカー選手権2022決勝大会」
豊田スタジアムが会場に決定！

★主催：東アジアサッカー連盟（EAFF）



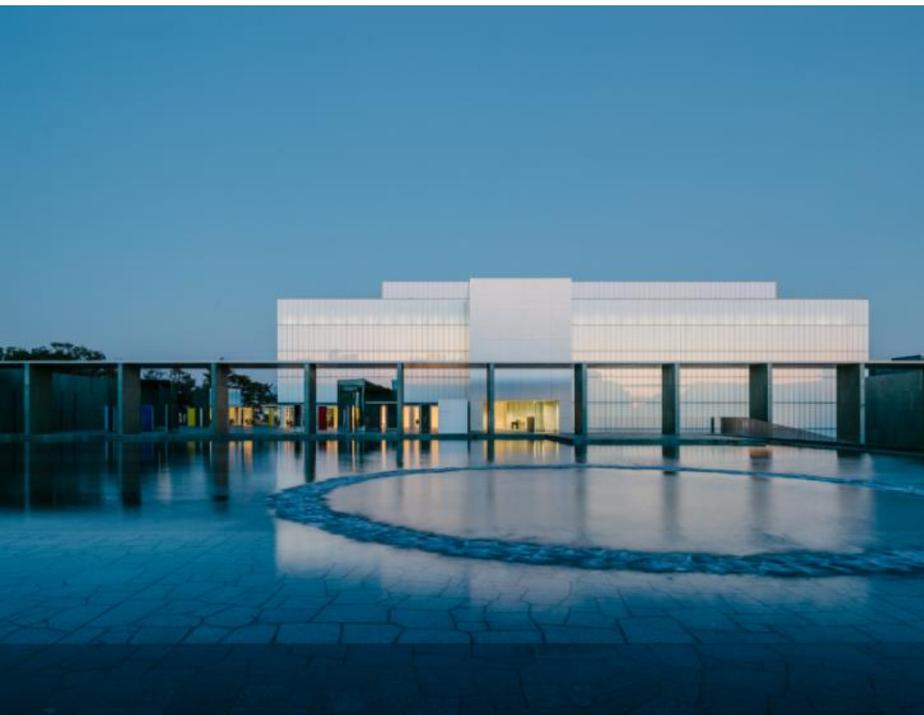
| | | | |
|----------|-------|---|-------------|
| 7月20日（水） | 女子：中国 | 対 | チャイニーズ・タイペイ |
| | 男子：中国 | 対 | 韓国 |
| 7月24日（日） | 男子：韓国 | 対 | 香港 |
| | 男子：日本 | 対 | 中国 |
| 7月27日（水） | 男子：中国 | 対 | 香港 |
| | 男子：日本 | 対 | 韓国 |



J1リーグ&ルヴァンカップ 豊田スタジアム開催試合

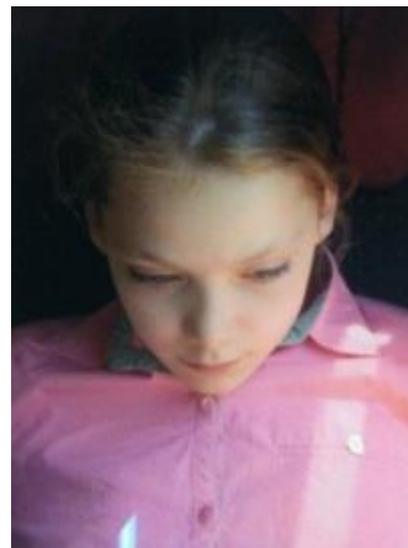
| | |
|---------------------|-----------------------------|
| 2月19日（土） ヴィッセル神戸 | 6月26日（日） 鹿島アントラーズ |
| 2月23日（水・祝） 清水エスパルス | 7月10日（日） 清水エスパルス |
| 3月6日（日） サガン鳥栖 | 7月16日（土） 川崎フロンターレ |
| 3月20日（日） 柏レイソル | 8月6日（土） 浦和レッズ |
| 3月26日（土） 徳島ヴォルティス | 8月19日（金） ジュビロ磐田 |
| 4月6日（水） 湘南ベルマーレ | 8月27日（土） ガンバ大阪 |
| 4月10日（日） コンサドーレ札幌 | 9月17日（土） or18日（日） サンプレッチェ広島 |
| 4月13日（水） サンプレッチェ広島 | 10月1日（土） or2日（日） 横浜F・マリノス |
| 5月3日（火・祝） 京都サンガF.C. | 10月29日（土） FC東京 |
| 5月14日（土） セレッソ大阪 | |
| 5月25日（水） アビスパ福岡 | |

豊田市美術館



【美術館】

- ・交歓するモダン 機能と装飾のポリフォニー
2022年6月7日～9月4日
- ・ゲルハルト・リヒター展
2022年10月15日～2023年1月29日
- ・未生の美－技能五輪の技（仮）
2022年10月15日～11月27日
- ・宇宙猫の瞬き（仮）
2023年2月25日～5月21日



ゲルハルト・リヒター展

豊田市民芸館

- ・（仮）藍染の絞り 片野元彦・かほりの仕事
（日本民藝館巡回展）
予定：令和4年9月13日～12月4日
- ・（仮）全国郷土人形展
予定：令和4年12月17日～令和5年5月7日

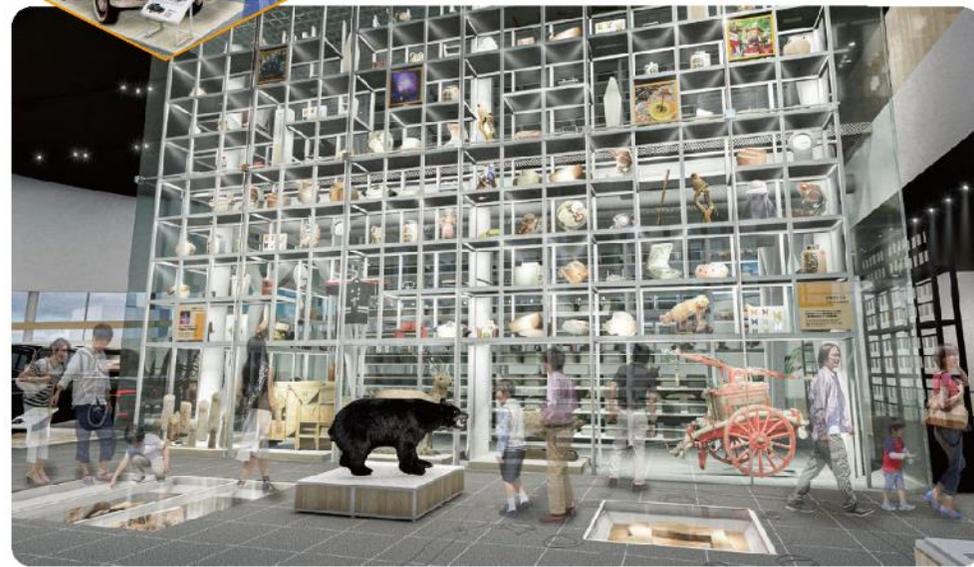


（仮）藍染の絞り
片野元彦・かほりの仕事

とよたの新しい博物館

2024 OPEN

豊田市に新しい博物館が開館します！



織田信長像(豊田市 長興寺蔵)



長篠合戦図屏風(浦野家旧蔵)



豊田市の観光マップ



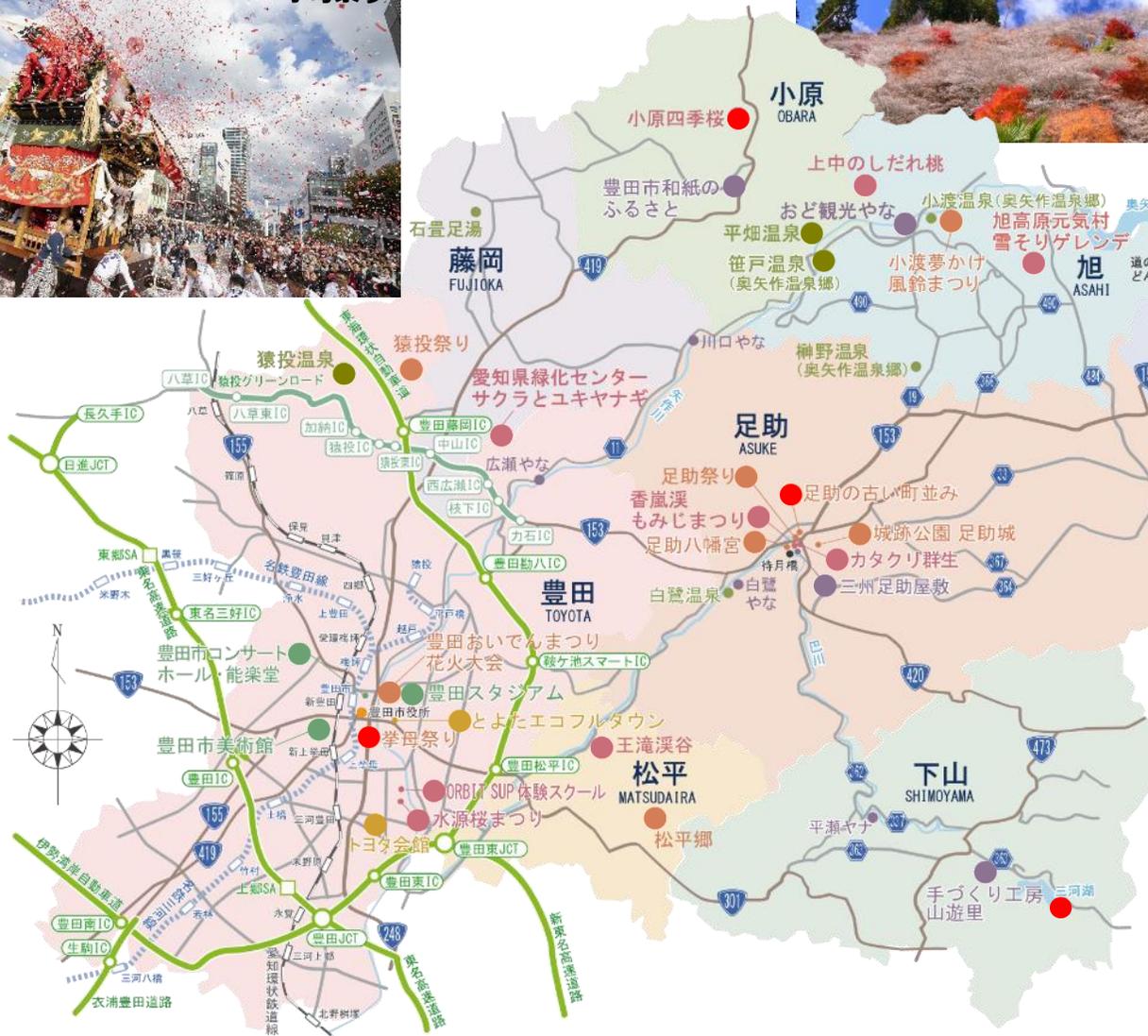
熊母祭り



小原四季桜



ツーリズムとよた
公式HP



足助の古い町並み



三河湖

